

第2学年 国語科学習指導案

児童 2年 男15名 女13名 計28名

授業者 教諭 佐々木 翔子

1 単元名 どうぶつのひみつをみんなでさぐろう 「ビーバーの大工事」(東京書籍 2年下)

2 単元について

(1) 教材について

本単元の主な指導事項は、C読むこと(1)イ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体をよむこと。」及び、エ「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」である。言語活動は、C(2)ウ「事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。」に対応する。

本教材は、2年生になって3度目の説明文である。「たんぼぼ」では、仲間の増やし方について順序に気を付けながら読む学習を行ってきた。「ふろしきはどんなぬの」では、箇条書きの文と本の文章とを読み比べ、書き表し方の違いを学習してきた。文章は、目的によって書かれ方が違ってくことは理解してきたものの、書かれている事柄の順序や文章中の大事な言葉をとらえられず、文章を読むことを苦手としている児童が少なくない。

本教材は、ビーバーが木を運ぶ様子、ダムを作る様子、巣を作る様子の三つの過程が順序よく説明されており、内容を整理しながら読み進めることができるようになっている。また、文章表現の中には、「ガリガリ」や「ぐいぐい」といった擬声語や擬態語、比喩表現も含まれているため、2年生の児童にとっては内容把握をより具体的にイメージするための手立てが工夫されている。このことから、本教材は、文の構成や特徴を手がかりにしなが、事柄の順序に気をつけて内容を読み取る力を育てるのに適した教材であると考えられる。

(2) 本単元における言語活動について

単元を貫く言語活動として、「どうぶつはかせクイズ」を作成する活動を位置づける。周りの友達が知らない動物の行動や特徴について児童は図鑑などを使って、意欲的に調べることが期待される。また、クイズを作成する際には、本文から答えを探すだけでなく、文を組み替えるような手立てを行うことにより、文そのものの構成にも着目させたい。教材の学習後には、教師が選んだ短い文章でクイズ作りを行い、自分たちだけでもクイズ作りができるようにつなげていきたい。本単元の言語活動を通して、児童自身が本や文章を読むことの楽しさを実感できるようにしていきたい。

3 単元の目標

- 動物について書かれた文章に興味を持ち、進んでクイズ作りをしようとする。 【関心・意欲・態度】
- 順序に気を付けながら、動物について書かれていることを正しく読み取ることができる。 【読むこと(1)イ】
- クイズにするために必要な文章中の大事な言葉や文を見つけながら読むことができる。 【読むこと(1)エ】
- 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ア)】

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読むこと	読むこと	言語についての知識・理解・技能
・動物について書かれた文章に興味を持ち、進んでクイズ作りをしようとしている。	・「どうぶつはかせクイズ」を作るために、書かれている事柄の順序に気を付けて、文章の内容を読んでいる。	・教えた動物のひみつについて、大事な言葉や文を見ながら読んでいる。	・言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付いて文や文章を読んでいる。

5 単元の指導と評価の計画

次	時	主な学習活動	評価規準と評価方法
第一次 つかむ	1	○写真や題名からビーバーについて分かることをあげ、ねらいを確かめて学習の見通しを持つ。 ○教師がどうぶつはかせクイズを出題し、本からクイズを作成することを知る。	関 ビーバーについて興味を持ち、分かることを意欲的に伝えようとしている。 (行動観察、発言)
	2	○全文を読み、初発の感想を交流する。 ㊟初発の感想を出し合い、クイズづくりに興味を持つ。 【グループ】	関 教材文を読んだ感想を進んで交流しようとしている。(ノート、発言)
	3	○学習計画を作成する。	読 教材文を通読し、内容の大体を読んでいる。 (行動観察、発言)
第二次 深める	4	○木のみきをかじるビーバーの場面(①～⑤)を読み取り、クイズを作成する。 ㊟クイズを出し合い、文のまとめ方を知る。【ペア】	読 ビーバーが生息する場所や行動に気を付けて文章を読み、読み取ったことをもとにクイズを作成している。 (ワークシート、発言)
	5	○木を川にはこぶビーバー場面(⑥～⑨)を読み取り、クイズを作成する。 ㊟クイズを出し合い、文のまとめ方を知る。【ペア】	読 木をはこぶ方法や体のつくりに関心を付けて文章を読み、クイズを作成している。(ワークシート、発言)
	6	○ダム作りをするビーバーの場面(⑩～⑮)を読み取り、クイズを作成する。 ㊟クイズを出し合い、文のまとめ方を知る。【ペア】	読 ビーバーの行動やダムづくりの方法に関心を付けて文章を読み、クイズを作成している。(ワークシート、発言)
	7	○湖の中に巣を作るビーバーの場面(⑯～⑳)を読み取り、クイズを作成する。 ㊟クイズを出し合い、文のまとめ方を知る。【ペア】	読 ビーバーが巣作りをするための行動や方法に関心を付けて文章を読み、クイズを作成している。 (ワークシート、発言)
	8 本 時	○資料で読んだ短い文章から、自分で問いを考え、クイズを作成する。 ㊟クイズを出し合い、文のまとめ方を知る。【ペア】	読 だいたいな言葉を見つけながら、文章中から、読み取ったことをもとにクイズを作成している。(ワークシート、発言)
	9	○前時に作成したクイズで、いろいろな友達とミニクイズ大会をする。 ㊟クイズを出し合い、文のまとめ方を知る。【グループ】	関 意欲的にクイズを出題したり、教材文から答えを探し出したりしようとしている。 (クイズシート、行動観察)
第三次 広げる	10 11	○自分が選んだ動物についてのクイズを作成する。	読 教えた動物のひみつについて大事な言葉や文をみつけながら読んでいる。 (クイズシート、行動観察)
	12	○どうぶつはかせ大会を開く。 ㊟クイズを出し合い、正しく読み取ることよさに気付く。 【ペア】	関 意欲的にクイズを出したり、答えを見つけたりしている。 (クイズシート、行動観察)
	13	○どうぶつはかせ大会を振り返り、感想をまとめる。 ㊟感想を出し合い、いろいろなクイズづくりの楽しさに気付く。 【グループ】 ○単元の振り返りを行う。	関 読み取ったことをもとに作成したクイズ大会の感想を発表したり単元の振り返りをしたりしている。 (ノート、発言)

6 本時の指導

(1) 目標

クイズに必要なだいたいなことばを見つけながら文章を読み取り、どうぶつはかせクイズを作成することができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	・指導上の留意点 ◇評価
つかむ 5分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 パンダのどうぶつはかせクイズをつくらう。	・前時までに児童が作成したビーバーのクイズ集を紹介する。 ・教師が作成した動物の資料を提示する。
見通す 6分	3 見通しを持つ。 ・資料を音読する。	・教師が作成した動物クイズを出題し、クイズ作りの見通しを持たせる。 ・どの部分を答えの文にしてクイズを作成したいか考えながら読み進めるようにする。
深める 20分	4 一人学びをする。 ・自分がクイズにしたい答えの部分のサイドラインをプリントに引く。 ・問いの文を作成する。 5 考えを深める。 ・ペアで1題ずつ問題を出し合う。 【ペア学習】 ねらい クイズを出し合い、言い方の良い点を伝えることで考えの良さを認め合う。 進め方 さくらりタイムで確認する。 広め方 1組のペアのクイズづくりを取り上げ、全体の中でよりよいクイズづくりの方法を考えていく。 ・クイズづくりの方法を全体で確認する。	・「なぜ～」、「どうして～」、「どのようにして～」 「何～」などといったクイズづくりの問いに使える言葉を提示しておく。 ・この時点では答えの文は作成せず、資料から見つけ、示すようにする。 ・サイドラインを引いたところの問いを作成し、ペアで出し合うときには資料に書かれているところから答えを見つけ出すようにする。
まとめる 14分	6 学習のまとめをする。 Bと捉えるまとめ方の例文 [問い] どのようにして、パンダの赤ちゃんは、タケをちぎりますか。 [答え] おかあさんのまねをしてちぎります。 7 本時の学習を振り返る。 ・振り返りを学習シートに書く。	・児童が作成したクイズの問いと答えを混ぜたカードを提示し、問いと答えを対応させてクイズを作成していくことを確認する。 ◇読み取ったことをもとにどうぶつはかせクイズを作成している。 【評価規準】 A 言葉と言葉のつながりを自分で考え、問いと答えを対応させたクイズを作成している。 B 教師が提示したクイズづくりの問いに使える言葉をもとに問いと答えを作成している。 支援の手立て クイズづくりの問いに使える言葉を提示する。